



平成24年度 学校だより (NO. 505)



くぬぎ台小

修了式特別号

平成25年 3月25日刊
横浜市立くぬぎ台小学校

ホームページへようこそ！ [くぬぎ台](#) → [検索](#)

昨日までのお客様 = 24,023人



大きな樹になったくぬぎっ子たちに贈る言葉

校長 藤井 芳樹

今回は、保護者・ご家族・地域の方々に読んでいただくことよりも、巣立っていく「くぬぎっ子」たちに向けてのメッセージにしてみようかと思います。

平成22年度、みなさんにくぬぎ台小学校の学校教育目標を理解し、身近に思ってもらおうと教職員全員で話し合っ考えたのが左下のキャッチフレーズです。

「大きな樹になれ くぬぎっ子」です。いつの日か、このくぬぎ台小学校で学んだことを活かして、立派なくぬぎの樹になってほしいと願って考えました。まだまだ、時間はたっぷりあると思っていたからです。

そして、平成23年度は40周年を迎えました。くぬぎ台小学校での最後の周年行事になるので、本当に盛大に行いました。

次の年の平成24年度は統合も決定し、くぬぎ台小学校を悔いなくやり遂げる年にしました。だから、「大きな樹になれ くぬぎっ子」です。この一年間で、大きな樹にならなければいけない年です。でも、みなさんは立派にやり遂げた一年間だと思っています。

そして、今日の修了式ではそれぞれが修了証書を手に入れました。「大きな樹になったくぬぎっ子」たちです。

「大きな樹になったくぬぎっ子」とは、

- ①大きな樹のように、しっかり根をはった人となるための**努力**をおしまない人になること。
- ②大きな樹のように、日陰をつくりきれいな空気をつくる、人のために**優しく**なれること。
- ③大きな樹のように、**いつも元気で丈夫で**長生きをすること。

今より、もっともっと大きな樹になあれ！



統合を前に大切な思いを表現したキャッチフレーズ



最後の学校だよりが505号だなんて、運命の巡り合わせかも！
だって、未来に向かって、
ゴーゴー(505)、ですよね。



感謝を込めて、『ありがとう。』

平成22年度から始まった卒業記念制作としての壁面画です。平成24年度の卒業生たちは、最後の年は自分たちだけでなく、全員に思い出づくりをしてほしいと考えてくれました。その紹介をしていきましょう。



平成二十三年度
卒業生の作品です。



平成24年度三年生の作品です。



平成24年度一年生の作品です。



平成22年度卒業生の作品です。



平成二十四年度
卒業生の作品です。



平成24年度五年生の作品です。

くぬぎ台小学校の校舎はどうなるの？

平成25年度一年間をかけて、地域と行政でまちの活性化に向けての有効活用について話し合っていく予定です。



平成二十四年度
一年生の作品です。



平成二十四年度
四年生の作品です。

校長室給食、全員ごちそうさまでした。

小規模校ならではの企画、全校児童が校長室で会食。お休みの日と重なってしまった人もいるようでしたが、みんなが自分のことや将来のことを話してくれました。昼休みの時間になるまでお話をしてく



れたくぬぎっ子もいました。これで、新しい学校にいても自己紹介が上手にできるね。

川島小学校の夏みかんの樹

先日、川島小学校から夏みかんがくぬぎっ子一人ひとりに届きました。

実は、川島小学校を訪れる度に気になっていたんです。あの夏みかんどうするのって。

実を全部採り終えた樹は、次の収穫のために丁寧に剪定をされていました。

くぬぎ台小学校と川島小学校が統合することに似ています。次の一步を進めるために剪定する、来年度から剪定後の生長が始まります。



統合ニュース（４）

集団登校はうまくできたかな？

3月4日（月）、初めての登校班練習をしてみました。うまくできたのでしょうか？

やはり、いろいろな反省点があったようです。班長さんもまだ慣れていないようで、歩く速さなど練習していかないといけないようです。横断歩道の集団での渡り方も練習しないとね。

4月9日（火）1時間目に、新しい担当の



先生と班員で反省会をする予定です。安全第一で登校するようにしていきましょう。

文字。一緒に参加した友達と私は今でも歌えます。運動会や修了式のときなど何度も歌ったし、時にはピアノの伴奏をしたりもしたなあなどと思い返していたら、いつの間にか涙がこぼれていました。友達も同じでした。周りにいた、多分年代代だと思われるみなさんも、同じく泣いていました。こんな風にあたたかく思い返せる小学生時代を送ることができて、つくづく幸せだったと思います。

教室に分かれてからは同級生だけでなく、「たてわり」でおしゃべりを楽しみ、その後は仲良しで懐かしい道を歩きながら鶴ヶ峰の居酒屋に行き、初めて一緒にビールを飲みました。おいしかったです。

母校がなくなることは、誰にとっても悲しく残念なことです。でも、こうしてみんながいつまでも心の中で大事に出来る思い出を作れました。くぬぎ台小学校を愛するみなさんが、こんなにたくさんいるのだということ、きっと当日は来られなくても遠くで母校を思っている人がいること、そういう確信を胸に、ありがとうくぬぎ台小学校、と穏やかに思えます。

教職員の皆さまも、お身体を崩されることのないようお過ごし下さい。北海道からエールを送らせていただきます。いつまでも輝こう、くぬぎ台小学校！

先日は、素晴らしい大同窓会を開催くださり、ありがとうございました。

★参加された卒業生からお便りが届きました。（抜粋）

当日はお天気にも恵まれて、すばらしい一日になりましたね。

今年度で幕を閉じる小学校とあっては、先生方の業務量も並大抵ではないと思います。そんな時期に、思いやりたっぷりの会を開いてくださり、心から感謝の気持ちで一杯です。

私は、今は北海道で暮らしているのですが、両親に今回の同窓会の話聞き、仲よしだった同級生と誘い合わせて参加させていただきました。同窓会に参加することが私にとって人生初でした。それが、こんなに感慨深い、大好きなくぬぎ台小学校の同窓会であったとは。

一日中、興奮つづきでした。体育館の記憶に残った、そのままの姿。壁にかけられた校歌の

41年間、ありがとうございました。

保護者、ご家族、地域の皆さまへ

平成25年3月31日をもって、横浜市立くぬぎ台小学校は校舎・校名を地域にお返しすることとなりました。昭和46年10月1日の創立以来、41年間の教育活動、さらには昭和47年1月第1号から、この第505号（3月29日には、ホームページ用最終号506号がです。）までのご愛読、ありがとうございました。













41年間で3446名の子どもたちがこの学舎で学びました。転校していった子どもたちを含めると4000名以上に登るのではないのでしょうか。教育界のいろいろな出来事とともにくぬぎ台小学校でも多くの取り組みがされてきたのだと思います。そんな時、いつも学校に寄り添い見守って下さった地域の方々、学校と共にくぬぎっ子を愛しチームとして教育活動を支援して下さった保護者やご家族の皆さま、本当にありがとうございました。

でも、これで終わりではなく、再び走り始めたいと思います。平成25年度からは次へのステップアップが始まります。一度は区切りをつけた上で、再び子どもたちのためのご支援の程、よろしく願い申し上げます。



《くぬぎ台小学校放射線測定報告：3月11日実施》

※横浜市の基準値は、地上1cmでの測定で0.59 μ Sv/h以下です。

測 定 場 所	地上 1 cm	地上50cm
校庭中央	0.03 	0.03 
雨樋下（第3棟への渡り廊下）	0.07 	0.07 
屋上側溝部分（第1棟）	0.05 	0.05 
雨水桝・汚水桝の淵（中庭理科室前）	0.03 	0.04 
校庭隅の吹きだまり（飼育小屋前）	0.04 	0.04 
校内学校田んぼ、畑および草地	0.07 	0.07 

◎前月との比較表示 